2025.9.1 No.182

互いに手を取り 支えあう 人と人

座間市 しゃきょう

TEL.046-266-1294（フロム いーふくし） FAX.046-266-2009
Email：info@zamashakyo.jp URL：https://www.zamashakyo.jp/

社会福祉協議会は、住み慣れた地域の中で誰もが安心して暮らせる社会を作ることを目的とした、社会福祉法に定められた民間の福祉団体です。

発行 社会福祉法人**座間市社会福祉協議会**
〒252-0021 座間市緑ケ丘一丁目2番1号
サニープレイス座間内

社協HP　社協X(旧Twitter)　社協Facebook

第50回ソレイユざま「趣味の作品展」開催のお知らせ

今年度もソレイユざまでは趣味の作品展を開催いたします。

開催期間　令和7年9月13日（土）・14日（日）・15日（月） 10:00～16:00
会　場　サニープレイス座間 3階研修室 ※机上のみの展示となります。
「ソレイユざま」会員の素晴らしい作品が並びますので、ぜひお越しください。

15日のみ～15:00

お問い合わせ… TEL:046-266-1294

会長あいさつ

座間市社会福祉協議会
会長 菊地　孝

このたび、引き続き今期も座間市社会福祉協議会の会長を務めさせていただくこととなりました、菊地孝です。第1期に続き、2期目も皆さまのお力添えをいただきながら、座間市の地域福祉の推進に尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

これまで座間市社協は、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、地域住民の皆さまや関係機関と連携を深めながら、様々な福祉活動に取り組んでまいりました。

特に第1期では、地域福祉活動計画の推進、災害時に備えた体制づくり、福祉教育やボランティア活動の充実、社会福祉法人連携の推進、権利擁護の推進や総合相談、在宅支援サービスの運営など、地域の課題に向き合う取り組みを一歩ずつ進めてまいりました。

第2期にあたっては、「社協に相談すれば安心」「地域のことは、地域で支える」という意識が地域の中で当たり前になるよう、より一層“つながり”を大切にした取り組みを進めていきます。地域の皆さま一人ひとりが安心して暮らし、困ったときに気軽に声をかけ合える街づくりを目指します。

福祉は、特別な誰かが担うものではなく、地域に暮らす全ての人が主役となるものです。これからも、座間らしい地域福祉をともにつくっていけるよう、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後となりますが、9月15日にはふれあいフェスティバル2025福祉まつりが開催されます。ぜひお越しいただき、1日楽しんで頂きたいと思います。

座間市社会福祉協議会 令和6年度 事業報告／決算

令和6年度は、「第4次座間市地域福祉活動計画」の3年目として、地域のつながりづくりや支え合いの仕組みづくりを進めました。物価高騰や孤立の問題など、変化する地域課題に対応するため、多様な取り組みを実施しました。

主な取り組み

1 福祉まつりのリニューアル開催
体験型イベントや「パンフェスティバル2024」の同時開催により、福祉への関心を高めました。

2 地域の居場所づくり・支援ネットワーク強化
誰もが気軽に参加できる地域活動の支援や、孤立を防ぐための情報共有・連携体制を構築しました。

3 社会福祉法人同士の連携促進
ヒアリングや情報交換を通じて、法人間の協力体制を強化し、地域課題の解決に向けた土台を築きました。

4 在宅支援サービスの充実
居宅介護や訪問看護で、個別ニーズに応じた支援を行い、リハビリサービスも開始しました。

5 第4次座間市地域福祉活動計画の中間評価を実施
外部委員を交えた評価会議により、これまでの取り組みを振り返り、今後に向けた課題や改善点を整理しました。

6 地域住民への相談支援の充実
多様な相談に対応できる体制づくりを進め、関係機関との連携により支援の質を高めました。

7 地域福祉活動の財源確保
売店や自動販売機の収益を活用し、地域との交流を深めつつ、地域福祉のための、継続的な活動資金を確保しています。

8 災害時にも備えた体制整備
動画研修などを通じて、BCP（業務継続計画）を浸透させ、事業の安定運営に努めました。

今後も「誰もが安心して暮らせるまち」を目指し、地域の皆さまとともに取り組みを進めてまいります。

＜収　入＞	（単位 円）
会費収入	4,922,824
寄附金収入	3,647,321
経常経費補助金収入	111,428,977
受託金収入	129,459,299
貸付事業収入	71,000
事業収入	29,868,012
介護保険事業収入	50,090,735
医療事業収入	7,517,799
利用料収入	95,138
受取利息配当金収入	208,958
その他の収入	1,196,147
事業活動収入計	338,506,210

＜支　出＞	（単位 円）
人件費支出	264,166,853
事業費支出	28,100,918
事務費支出	18,067,608
収益事業売上原価支出	15,918,856
貸付事業支出	71,000
共同募金配分金事業費	1,497,400
助成金支出	5,650,920
負担金支出	400,420
支払利息支出	33,639
その他の支出	2,606,630
流動資産評価損等による資金減少額	0
事業活動支出計	336,514,244

広告

広告

この広報紙「座間市しゃきょう」の作製には、社協会費や共同募金の配分金の一部が充てられています。

社会福祉法人座間市社会福祉協議会 理事・監事・評議員名簿

第24期 理事・監事

令和7年6月24日から令和9年6月定時評議員会終結まで　　敬称略

種別		所属	氏名
第1種	民生委員・児童委員	座間市民生委員児童委員協議会 会長	橋本　孝一
第2種	自治会	座間市自治会総連合会 会長	湯浅　一弘
第3種	民間福祉施設	社会福祉法人成光福祉会 理事長	矢部　雅文
第4種	当事者団体	座間市障害者団体連合会 会長	鈴木　孝幸
		座間市老人クラブ連合会 会長	長谷川　光
第5種	学識・有識者関係	座間市ボランティア連絡協議会 会長	髙橋　弐

種別		所属	氏名
第5種	学識・有識者関係	座間市スポーツ・文化振興財団 理事	安斉　弘樹
		座間市社会福祉協議会 会長	菊地　孝
		座間市社会福祉協議会 前事務局長	杉浦　俊夫
第6種	監事	市議会議員	荻原　健司
		座間市民生委員児童委員協議会	清水　春男
		座間市スポーツ・文化振興財団 元専務理事	宮代　孝男

第22期 評議員

令和7年6月24日から令和11年6月定時評議員会終結まで　　敬称略

種別		所属	氏名
第1種	民生委員児童委員協議会	民生委員児童委員協議会	稲垣　文野
		民生委員児童委員協議会	藤見　睦彦
		民生委員児童委員協議会	小林　肇子
第2種	自治会総連合会	自治会総連合会	阿部　輝密
		自治会総連合会	清原　良昭
第3種	社会福祉施設	民間保育園理事長園長会	山梨　鈴代
		社会福祉法人 日本キリスト教奉仕団	潮田　満
第4種	福祉関係団体	障害者団体連合会	福村　幸江
		ボランティア連絡協議会	高木　貞明

種別		所属	氏名
第4種	福祉関係団体	老人クラブ連合会	松村　坦
		青少年指導員協議会	石田　信一
		座間保護区保護司会	大矢　公夫
		地区社会福祉協議会	佐藤　賢造
		地区社会福祉協議会	吉田　忠雄
		座間ロータリークラブ	溝渕　信一
第5種	学識経験者	座間市議会	熊切　和人
		医師会	松山　斉久
		座間市商工会	内藤　和美
第6種	福祉行政	座間市役所	亀田こずえ

座間市地域福祉活動計画

現在、座間市社会福祉協議会では第4次地域福祉活動計画（令和4年度～令和8年度）を推進しています。次年度が第5次地域福祉活動計画の策定年度となるため、アンケートやヒアリング調査などを実施予定です。みなさまご協力をお願い致します！

【第4次地域福祉活動計画とは?】

計画の基本理念

誰もが安心して暮らせる、ともに助け合い支え合うまちづくりを目指して

基本方針

誰もが孤立せずにつながりがある座間【つながり】

1	担い手づくり	さまざまな立場の人が自分に合った形で活動に携われるように、気軽に参加できる仕組みづくりを推進します。
2	居場所づくり	誰もが気軽に参加できる居場所が増えること、本人にとっての居場所が継続する地域を目指します。
3	安心・安全な地域づくり	困った人が声を上げられなくても、地域のつながりによって、誰もが適切な支援につながる、安心して暮らせる地域を目指します。

担当：企画運営係 TEL：046-266-2002

ファミリー・サポート事務局からのお知らせ

子育てを応援したい人　　子育てを応援してほしい人

大大大募集です！

地域の中で安心して
子育てができるように「ファミサポ」がサポートします！

令和7年10月 講習会 のお知らせ

1 10月22日（水）13：00～16：00（開場12：50）
2 10月23日（木）13：00～17：00（開場12：50）
3 10月24日（金）9：15～12：15（開場9：00）

場所　サニープレイス座間 1 2 2階 会議室2　3 3階 多目的室
対象　市内在住20歳以上の方　**定員**　先着15名
申込　10月15日までに申込フォームから申込、または電話でお問い合わせ先へ

※ 1講座からの受講も可能です。
※ すべての講座を受講することで修了となります。

お問い合わせ：ファミリー・サポート事務局 TEL：046-266-2003

広告

Innovation for Wellbeing
SOMPOケア
私たちは、SOMPOホールディングスの一員です。

随時ホーム見学会実施中

介護付き老人ホーム
SOMPOケア ラヴィーレ座間谷戸山公園
24時間看護師常駐ホーム

〒252-0028
座間市入谷東3-41-17

●安心のチームケアサポート ●栄養ケア・マネジメント ●多彩で上質な「共同空間」

☎046-252-6501

広告

水曜教室・月3回
大人のペンと習字コース
●午前と午後の部
子どものお習字・硬筆
●夕方の部

大人から子どもまで
書道教室
毛筆とペンを学べる

金曜教室・月3回
大人のペンと習字コース
●昼の部と夜間の部
子どものお習字・硬筆
●夕方の部

ひまわり書道・相武台教室
場所　水曜教室　座間市相武台1－37 相武台自治会館（横浜銀行裏）
　　金曜教室　相模原市相武台1－23－11 相武台前自治会館
指導者：大矢窓華（書歴30年）連絡先 090-8777-3933
ホームページ
見学・体験は随時お受けしていますのでご連絡ください。詳しくはホームページをご覧ください。

家計改善支援事業

家計の立て直しをアドバイスします

このようなことで困っていませんか？

◎光熱費や家賃、税金が払えない
◎年金だけでは生活がまわらない
◎学費や奨学金返済で困っている
◎収入が不安定なので家計管理が上手くできない
◎仕事は決まったが、給与日までの生活費が足りない
◎住宅ローンの返済がきつい
◎生活に必要な収入の目途を知りたい
◎借金の事を誰にも相談できなくて苦しい

◎各種滞納問題の解消に向けて**いっしょに**考えます
◎借金問題は、必要に応じて法律家を紹介、同行しサポートします
◎安心して暮らすために必要な生活費を**いっしょに**考えます
◎家計の見直し、お金の管理方法を**いっしょに**考えます
◎家計の見直しについて、アドバイスや情報提供をします

生活福祉資金貸付制度

ご相談ください

低所得者世帯や障がい者・高齢者世帯、失業者世帯等に資金の貸付を行い、経済的自立と生活意欲の促進を図り、安定した生活を送れるようにサポートする事業です。資金の詳細や貸付条件・基準は種類によって異なります。貸付にあたりましては、世帯全体の状況を把握させていただくため、世帯員の皆様の就労、疾病、負債等の状況や返済計画も含め、事前に十分なご相談をさせていただきます。
相談来所の際は、事前に下記お問い合わせ先までご連絡をお願いします。

≪総合支援資金≫
失業などにより生活の維持が困難になった世帯に対して、生活費及び必要な資金の貸付を行います。

≪緊急小口資金≫
やむを特ない理由で緊急かつ一時的に生活維持が困難になった低所得世帯に対して、少額の貸付を行います。

≪福祉資金≫
自立生活を送るうえで、一時的に資金が必要となった世帯に資金の貸付と必要な援助を行います。

≪教育支援資金≫
一定所得以下の世帯に対して、学校教育法に定められた高等学校、大学などの進学や通学に必要な経費の貸付を行います。

≪不動産担保型生活資金≫
住み慣れた自宅に住み続けたい高齢者の方に対して、土地・建物を担保とした生活資金の貸付を行います。

お問い合わせ：生活相談係 TEL：046-266-2004

10月より赤い羽根共同募金が始まります

運動期間：10月1日～3月31日

赤い羽根共同募金は、高齢者支援、子ども食堂、障がいのある方の活動支援、防災・災害時の地域支援など、わたしたちのまちの身近な地域福祉に役立てられています。今年で79回目となる共同募金運動は、引き続き「つながりをたやさない社会づくり」を全国テーマに掲げて、“神奈川県内の地域福祉の推進”に積極的に取り組んでまいります。ぜひ皆さまのご協力をお願いいたします！

お問い合わせ：地域福祉課 TEL：046-266-2002

9月21日は「世界アルツハイマーデー」

9月21日は「世界アルツハイマーデー」として、9月は「世界アルツハイマー月間」として制定されて、お住まいの圏域の地域包括支援センターでも、アルツハイマーデーに併せて様々な催しが開催されます。認知症についてのご相談や、ご質問は地域包括支援センターへお寄せください。

センター名	担当エリア	電話番号
相模が丘地域包括支援センター	相模が丘	046-266-5222
ひばりが丘地域包括支援センター	小松原、ひばりが丘、東原	046-255-2555
栗原地域包括支援センター	さがみ野、栗原中央、南栗原、西栗原	046-251-1167
相武台地域包括支援センター	相武台、広野台、栗原、緑ケ丘2～6丁目、明王	046-258-2030
立野台地域包括支援センター	緑ケ丘1丁目、立野台、入谷東	046-266-2005
新田宿地域包括支援センター	入谷西、四ツ谷、新田宿、座間	046-256-9007

＼開催しました／ 地域ネットワーク強化事業

座間市内の社会福祉法人が連携し、昨年度より「地域ネットワーク事業連絡会」を開催しています。この連絡会は顔の見える関係づくりを通じて、地域における福祉課題に協働で取り組むための重要な機会となっています。第2回目となる連絡会は、7月24日（木）に開催され、市内の社会福祉法人20法人のうち14法人から18名が参加しました。当日は、日本福祉大学経営学部　客員教授　渋谷篤男先生をお招きし、「近年の地域公益活動の動向」をテーマにご講義いただきました。講義の後には、各法人から現在取り組んでいる地域公益活動や、最近の活動状況についての報告があり、参加者同士で活発な意見交換が行われました。今後も市内の社会福祉法人が一丸となり、地域の福祉向上に向けた取り組みを進める活動をしていきます。

担当：総務課 TEL：046-266-1294

座間市障害者団体連合会研修会

障がいの有無に関わらず、住み慣れた地域で暮らし続けるために、成年後見制度について学び、理解を深め、ともに暮らせる地域社会の実現を目指すために研修会を開催いたします。

日時　令和7年10月25日（土）13時30分～
場所　サニープレイス座間 3階研修室
内容　成年後見制度と障がいのある方と家族の終活について

お問い合わせ：障害者団体連合会事務局 TEL：046-266-2001

善意銀行

～あなたの「善意」を福祉へ橋渡し～
令和7年4月1日から令和7年7月31日までにご寄附いただいた方は以下の通りです。
ありがとうございました。

（敬称略・順不同）

■浄財をご寄附いただいた方
◉一般寄付　戸大建設工業株式会社（50,000円）／匿名希望の方（1,000,000円）／座間市グラウンド・ゴルフ協会（2,100円）／有山エステート有限会社（50,000円）／池田たか子（3,472円）／神奈川土建座間海老名支部（7,300円）
◉指定寄付　シニア健康麻雀クラブ・座間からみんなの食堂へ（1,600円）／菊扇会から成光学園へ（浄財）／折り紙サークル夢折紙から相武台コミュニティセンターへ（1,600円）

■物品をご寄附いただいた方
◉一般寄付　雨森和彦（お米5kg）／神奈川県西北地区郵便局長会夫人会（食品・タオル・トイレットペーパー等）／匿名希望の方（お米3kg×6）／有限会社MYJホーム（野菜）／株式会社ザシティ（お菓子等）／匿名希望の方（筆記用具）／東日本旅客鉄道株式会社（備蓄保存パン）／匿名希望の方（ボールペン150本・シャープペンシル150本）／みんなの整骨院（経口補水液）／匿名希望の方（野菜・食品）／しらかし会（雑巾56枚）

善意銀行は皆さまからのご寄付を受付けています。
※物品については新品・未使用のものに限らせていただきます。

担当：総務課 TEL：046-266-1294

ご家族やお知り合いで、座間市しゃきょう「点字版」「録音版」を必要とされる方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。TEL：046-266-1294